



北アフリカ地域ニュース

リビア：カダフィー指導者のフランス訪問 (12月10日付「ル・モンド」紙他)

リビアの最高指導者カダフィー大佐が10日、34年ぶりにフランスを公式訪問した。フランス滞在は、15日までの5日間の予定。

1. サルコジ・仏大統領は、カダフィー大佐の訪仏中に、総額100億ユーロ(1兆6200億円)の契約が締結されるだろうと述べた。
2. すでにリビアは、エアバス機21機、32億ユーロ(5184億円)の契約に調印し、さらに9機をオプションで購入する模様。その他、戦闘機14機、戦闘用ヘリコプター15機、対空ミサイル、装甲車、軍艦5隻など軍事契約に加えて、70年代にリビアが購入したミラージュ戦闘機のメンテナンス契約も調印される予定となっている。
3. また民間においては、トリポリ国際空港、幹線道路などは仏建設大手ヴァンシ(Vinci)グループが、トリポリ周辺の衛生やガスや電気などのインフラ整備においては、仏ベオリア(Veolia)グループが落札および契約を予定している。
4. また仏大統領府は、「フランスはリビアの平和的な原子力エネルギー開発のための協力協定に調印し、リビアに原子炉を供給し、ウラン開発を支援する」と発表。リビアは、原子力エネルギーを海水の淡水化事業などに利用すると発表している。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799